

## 1. チェック対象指定

新メニュー[チェック]-[チェック対象指定]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

メニュー「チェック」のサブメニューで、検査および処理を行う DM データを指定します。多数の DM データファイルを開いていて、一部の DM データのみをチェックしたい場合、このメニューでチェックの対象外となる DM データを指定してください。



ウィンドウには開いている DM の図郭識別番号と矩形を表示します。チェックの対象は赤、対象外はグレーで表示します。DM データファイルを開いた直後はチェック対象となっています。

### 【すべてチェック対象】

開いているすべての DM データをチェック対象にします。

### 【矩形範囲チェック対象】

このボタンを押した後、マウス左ボタンのドラッグで矩形指定してください。矩形と重なる DM データをチェック対象にします。

### 【矩形範囲対象外】

このボタンを押した後、マウス左ボタンのドラッグで矩形指定してください。矩形と重なる DM データをチェック対象外にします。

### 【すべて対象外】

開いているすべての DM データをチェック対象外にします。

### 【マウス左ボタンのクリック】

図郭線の内側をクリックすると、チェック対象が対象外に、対象外がチェック対象になります。

### 【スクロールバー】

表示を左右上下にスクロールします。



ほぼ全体を表示します。



画面中央を基準に 1/2 に表示を縮小します。



画面中央を基準に 2 倍に表示を拡大します。

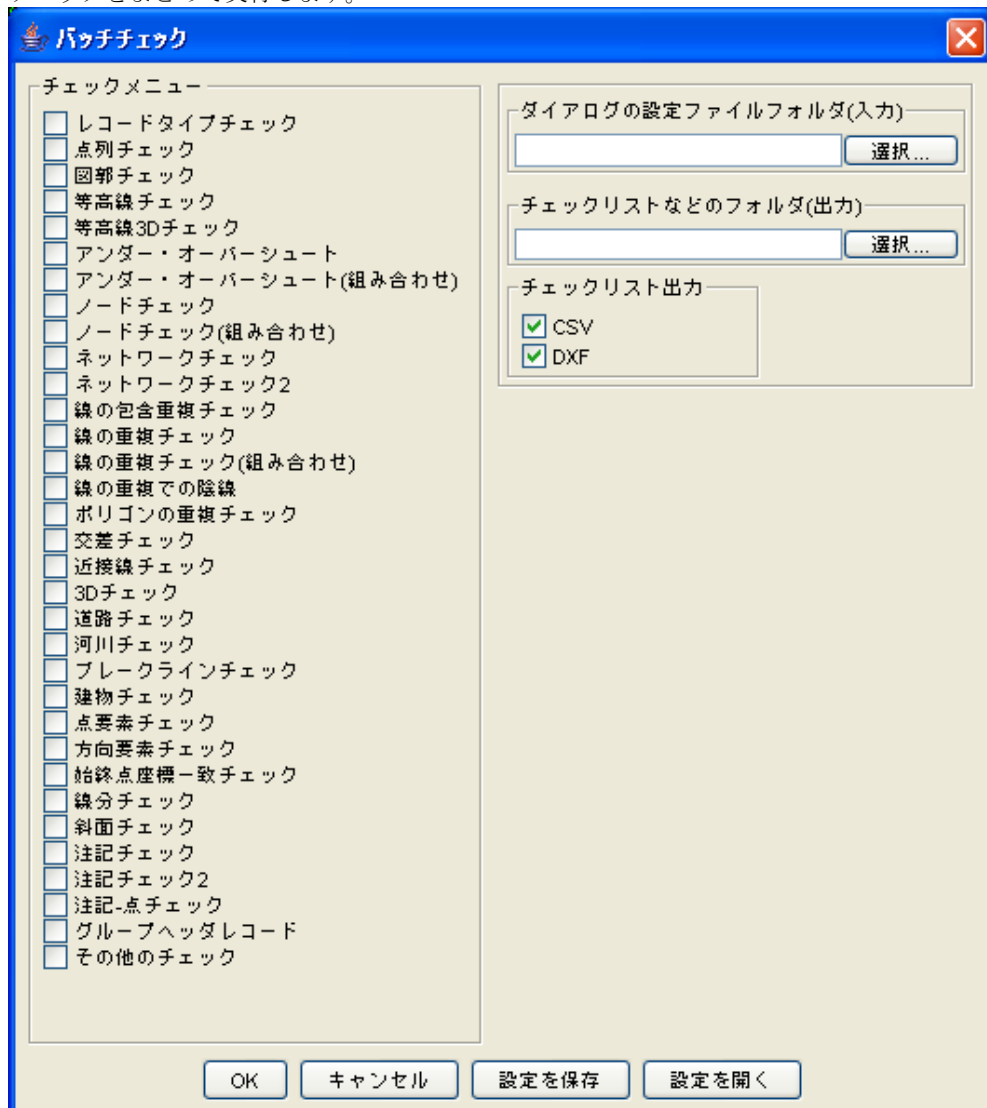


このボタンを押した後、マウス左ボタンのドラッグで矩形指定してください。矩形範囲を画面一杯に表示します。

## 2. バッチチェック

新メニュー[チェック]-[バッチチェック]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

チェックをまとめて実行します。



### 【チェックメニュー】

実行するチェックメニューを選択してください。

### 【ダイアログの設定ファイルフォルダ(入力)】

各チェックメニューのダイアログの設定情報を置いたフォルダを指定します。この欄が空白の場合は、直前に実行した設定でチェックを実行します。フォルダにはメニュー名と同じ名前の.csv ファイルを置いてください。例えば、「レコードタイプチェック」の場合、設定ファイル名は「レコードタイプチェック.csv」となります。メニュー名と同じファイルがない場合、直前に実行した設定でチェックを実行します。

### 【チェックリストなどのフォルダ(出力)】

各チェックの結果、[チェックリスト]に表示している内容を、チェックリストファイルとして保存します。ファイルの内容はメニュー[ファイル]-[チェックリスト保存]と同じです。ファイル名はメニュー名+拡張子になります。チェックの結果、[チェックリスト]に表示される項目がない場合、サイズが0のファイルを作成します。

### 【CSV】

[ファイル]-[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(CSV)]と同じファイルを保存します。[チェックリスト保存(CSV)]のダイアログでの設定は、「ダイアログの設定ファイルフォルダ(入力)」のフォルダあるいは直前の保存での設定に従います。

### 【DXF】

[ファイル]-[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(DXF)]と同じファイルを保存します。[チェックリスト保存(DXF)]のダイアログでの設定は、「ダイアログの設定ファイルフォルダ(入力)」のフォルダあるいは直前の保存での設定に従います。

「グループヘッダレコード」では、チェック結果を[レポート]パネルに表示するだけなので、「チェックリストなどのフォルダ(出力)」で指定されたフォルダには、サイズが0のファイルを作成します。

チェックメニューにはDMデータを変更するオプションがありますが、ONの場合、バッチチェックでもデータを変更しますので、ご注意ください。

[注記チェック]の項目をラジオボタン(ひとつの項目しか実行できない)から、チェックボックス(複数の項目が同時に実行できる)へ変更しました。